



春江中だより

【は】 っけん・気付く つなげ【る】 【え】 がおを創り出す



本校教育目標

- 1 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 2 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 3 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

新しい年を迎えて ～夢や希望を叶えよう～

校長 横枕 耕史

新しい年を迎え、気持ちも新たに3学期を迎えました。3年生は本格的な受験シーズンに入ります。自分の夢や目標の実現に向けて全力で努力することを期待しています。1、2年生も締めくくりの3学期を迎えますので来年度に向けた準備期間として大切に過ごしましょう。

さて、12月に保護者および生徒の学校評価アンケートを実施いたしました。そこから読み取れる本校の課題については、まず「家庭学習の時間不足」と「1日のスマートフォンの使用時間」があげられます。「1日にどのくらい家庭学習をしていますか」の問いに「思う」「少し思う」に回答をした保護者が19%で、「1時間未満の学習時間」の生徒の回答は57.3%（全校平均）でした。

家庭学習については「個別最適な学び」が進められ、授業だけでなく家庭学習でも、生徒1人1人に合った課題や学習方法が必要です。自ら課題を設定し家庭で取り組む方法は、今後求められる力の向上につながります。本校では、学力向上のための土台である「基礎・基本の習得・定着」を徹底させるため、学校全体の取り組みとして各教科で漢字、計算、スペリングのコンテストを行っています。朝の時間を自習時間にすることで多くの生徒の学習効果をあげることができています。また、定期テストの時期だけではなく、通年で「学びに向かう」ことを狙いとして各教科にて単元テストを導入しました。

「1日にどのくらい学習以外でスマートフォンを利用していますか」の問いに、「2時間以上使用している」と回答した保護者は56%。生徒も同様の問いに対して62.9%でした。スマートフォンやタブレット等の使用時間は、非常に多くなっています。情報がたくさん溢れている中で、情報の適切な使い方や判断が大切になります。学校では、SNSの使い方や使用時間を含めて情報モラルについても考えさせる指導を行っています。

自分で計画を立てることや時間を上手に使うことは家庭学習を習慣化させるために必要な要素です。家庭学習を含めてスマートフォン等の使い方のより良いあり方として「時間やスケジュールの自己管理」について検討しています。

「保護者の方と1日にどの程度、会話をしていますか」の問いに「思う」「少し思う」の保護者の回答は35%でした。生徒の回答は「2時間以上」が39.2%でした。本校では、学級担任を中心に「二者面談期間」を設けて、生徒との対話や相談から生徒の悩みや心配・不安に寄り添い、解消に努めています。しかし学校生活に慣れてきた半面、生活習慣の乱れや人間関係の悩みなどから遅刻や欠席等の生徒も出てきています。その生徒の状況によって、校内の教育相談委員会での検討や複数の教員が生徒の心情に寄り添う支援を心掛けています。

運動会や合唱コンクール（本年度はタワーホール船堀で実施）を通して、上級生のリーダーシップを参考にしながら、下級生の中からもリーダーとなる生徒が出てきています。学校生活全般を自分たちで改善していくとする意識の高まりや集団の力の向上を目指した行動ができるようになってきています。次年度に春江中学校の中核としてのあるべき姿について、生徒それぞれが学校や学年をより良く引っ張っていけるように支援していきます。その反面、失敗を恐れて挑戦できないことや人に流されたり頼りすぎたりしてしまう場面も見受けられました。生徒同士で声をかけ合ったり、励まし認め合ったりする環境や日常のあらゆる場面で積極的に生徒を認め、後押ししていきます。

最後に本校の教育活動に関して温かさと厳しさのあるご意見も多く頂き、ありがとうございました。引き続き、教職員が一体となって、生徒、保護者、地域から信頼される学校を目指してまいります。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。